

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		11/25~12/2	12/2~12/9	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.020	0.019
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.020
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.018
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.037	0.039

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		11/25~12/2	12/2~12/9	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説 ●

市内の大気浮遊じん中のセシウム137濃度は、平均値が0.007mBq/m³でした。この値は、測定を始めて一番低い値でした。これは極めて低い濃度であり、健康影響について心配はいりません。気がついたら新年ですが、昨年末に6年前に打ち上げた「はやぶさ2」が、小惑星までの往復約53億kmの行程を経て、搭載していたカプセルを地球へ投下しました。このカプセルには約46億年前の太陽系が生まれた頃の砂が採取されていて、宇宙の成り立ちの解明に役立つと期待されています。このように信じられないほど膨大な科学の成果を積み重ね、未知のことに挑み続ける人類は、素晴らしい生き物だと思いませんか？きっと、人類は放射能汚染問題もコロナ汚染問題も科学の力で乗り越えると信じています。